



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 芳賀中学校2年生製作作品『芳賀町あいうえおカルタ』 「優秀読み札選出及び表彰状贈呈式」に出席

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川佳弘3等陸佐）は、3月18日（月）、栃木県芳賀町立芳賀中学校内で開催された「芳賀中学校2年生の職場体験学習製作作品・ふるさと偉人マンガ&カルタ」の表彰状贈呈式に出席した。

栃木県芳賀町では中学生を対象に町職員や町内有識者による分野ごとの講座等を開講し、明日の芳賀町を担う生徒の育成を図る「芳賀町ふるさと大学事業」を実施している。この取組みの一環である中学生の職場体験学習で、令和5年11月に宇都宮文星女子高校にて芳賀中学2年生5名の生徒

が3日間のマンガ製作の流れと「唐桶溜（溜池）」の取材授業を受講し、その後、同高校及び民間企業（株）アイティの支援を得て、芳賀中学校2年生全員が「芳賀町の偉人マンガ岡田宗山物語」と「芳賀町あいうえおカルタ」製作に参加した。岡田宗山翁とは、約300年前に農民窮状を救うために「唐桶溜」を完成させた芳賀町の偉人である。

今回は、宇都宮文星女子高校の担当教諭である宮本明子氏より、以前にも栃木地本と共同で「自衛隊カルタ」を製作したご縁があったことから、完成した「芳賀町あいうえおカルタ」の読み句全46組の中から「自衛隊賞」の一句を選出し、もら

いたたいとの依頼が真岡募集案内所にあった。同案内所では、岡田宗山翁が組織力、団結力、村民の為に尽力された姿が自衛隊活動の志と重なるという理由から、「ちからを合わせ みんなで作った 唐桶のため」の一句を自衛隊賞（優秀作品）として選出した。

表彰状贈呈式当日は、芳賀町中学校・音楽室に中学2年生約130名が出席する中、芳賀町偉人マンガ製作委員会委員長、宇都宮文星女子高校校長、栃木地本真岡募集案内所長の3者より、芳賀中学校カルタ製作実行委員、同校2学年全生徒に対し感謝状及び表彰状が贈呈された。

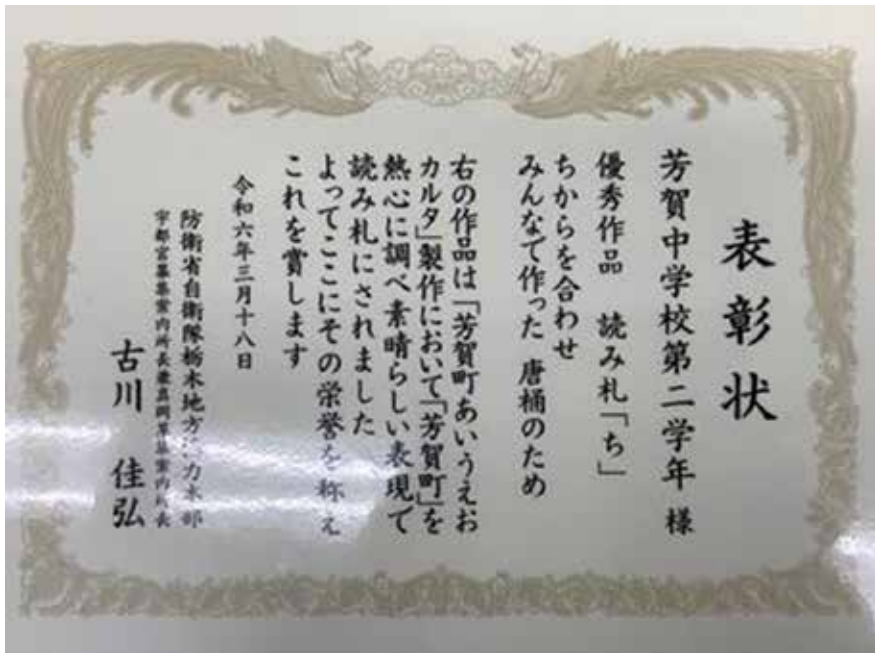
当日は、芳賀町中学2年生全員に「自衛隊賞」副賞の自衛隊グッズ（文房具）を贈呈した他、自衛隊も職場体験学習の受入を支援していることも紹介することができた。

真岡募集案内所は「今回は、過去に栃木地本と「自衛隊カルタ製作」の縁があった宇都宮文星女子高校教諭の計らいで読み句選考と表彰状贈呈式に出席することができ、若い世代の方々と自衛官が触れ合える機会を得ることができた。自衛隊協力者との連携を大切に、今後も地域と学校の為に尽力していきたい」としている。



「芳賀町あいうえおカルタ」自衛隊賞・表彰状贈呈の様子  
（古川3陸佐の代理で田中陸曹長が代読）

「芳賀町あいうえおカルタ」製作委員会代表の生徒と一緒に読み句46組の作品の前で記念撮影



「芳賀町あいうえおカルタ」と「自衛隊賞の表彰状」